

【学会】 73 件

2021 年

●筆頭演者：覺正秀一

・発表テーマ：重度運動麻痺を呈した脳卒中片麻痺症例に対して聴覚バイオフィードバックを用いて持続的な手指屈筋群の活動が低下した一症例 -圧センサーと圧電スピーカーを用いた介入-

・学会名：回復期リハビリテーション病棟協会第 39 回研究大会

●筆頭演者：高橋良輔

・発表テーマ：補助具なし歩行自立に必要な安定性限界について：60 歳以上の患者に着目して

・学会名：第 5 回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会

●筆頭演者：高橋良輔

・発表テーマ：高齢者における補助具なしの歩行自立に必要なバランス能力に関する検討

・学会名：第 58 回日本リハビリテーション医学会

●筆頭演者：戎 駿介

・発表テーマ：脊髄小脳変性症により運動失調を呈した症例に対する外骨格フレームを用いた治療効果の検討

・学会名：第 19 回 日本神経理学療法学会学術大会

●筆頭演者：伊藤 宗一郎

・発表テーマ：歩行機会拡大に向けて理学療法と体重免荷トレッドミル歩行練習を併用し改善が図れた脳性麻痺児の 1 例

・学会名：第 8 回 日本小児理学療法学会学術大会

●筆頭演者：安部千秋

・発表テーマ：HONDA 歩行アシストを使用した介入により移乗動作の獲得に至った脳性麻痺児の報告；動作時筋活動に着目して

・学会名：第 8 回小児理学療法学会学術集会

●筆頭演者：菅野公二

発表テーマ：『当院の発達外来作業療法が北海道十勝総合振興局管内で担う療育と今後の課題』

学会名：第 55 回日本作業療法協会学術大会

●筆頭演者：加藤瑞貴

・発表テーマ：『行政の認知症予防対策としての楽しさプログラムの実施』

・学会名：第 55 回日本作業療法協会学術大会

●筆頭演者：小野 圭介

・発表テーマ：回復期入院時における実績指数予測のバリエーション評価

・学会名：第 72 回北海道理学療法学会学術大会

●筆頭演者：高橋 良輔

・発表テーマ：高齢者における補助具なしの歩行自立に必要な下肢伸展トルクに関する検討

・学会名：第 72 回北海道理学療法学会学術大会

●筆頭演者：本間 良介

・発表テーマ：脳血管性パーキンソンニズムを呈した脳卒中慢性期患者に歩行用リハビリテーションシス

テムを使用し立位バランス機能と歩行能力の改善が認められた症例

・学会名：第72回北海道理学療法学会

●筆頭演者：伊藤 稔基

・発表テーマ：Pusher 症候群において病棟練習の即時効果を検証した回復期脳卒中患者一症例

・学会名：第72回北海道理学療法学会

●筆頭演者：河合 聖太

・発表テーマ：歩行困難な重度片麻痺患者において体重免荷式トレッドミルトレーニングを用いた一症例

・学会名：第72回北海道理学療法学会

●筆頭演者：小野 圭介

・発表テーマ：理学療法士の質が脳卒中患者の満足度に与える影響

・学会名：第58回日本リハビリテーション医学会学会

●筆頭演者：戎 駿介

・発表テーマ：認知機能や運動機能に著明な日内変動を呈する認知症を併発した脳卒中片麻痺症例への理学療法介入の検討

・学会名：第58回日本リハビリテーション医学会学会

●筆頭演者：高橋 良輔

・発表テーマ：高齢者における補助具なしの歩行自立に必要なバランス能力に関する検討

・学会名：第58回日本リハビリテーション医学会

●筆頭演者：永井 義樹

・発表テーマ：手袋の着脱動作が巧緻動作に与える影響

・学会名：第51回北海道作業療法学会

●筆頭演者：荒 洋輔

・発表テーマ：当院回復期リハ病棟に入院した転倒骨折患者様の特性から見た介護予防の必要性

・学会名：第51回北海道作業療法学会

●筆頭演者：永井 義樹

・発表テーマ：地域密着型地域包括ケア病棟における補完代替リハビリの有用性

・学会名：第7回地域包括ケア病棟研究大会

2020年

●筆頭演者：有安 はるな

・発表テーマ：上肢訓練ロボット ReoGo®-J と当院独自の課題指向型訓練シートを併用した訓練効果

・学会名：回復期リハビリテーション病棟協会 研究発表会

●筆頭演者：伊藤 広和

・発表テーマ：軽度片麻痺患者における上肢筋活動の検証-筋電図による経時的変化-

・学会名：第18回日本神経理学療法学会

2019年

●筆頭演者：菊池俊之

- ・発表テーマ：壁と人との違いが隙間通過時の歩行様式に与える影響
- ・学会名：第 24 回日本基礎理学療法学会学術大会

筆頭演者：加藤瑞貴

- ・発表テーマ：『当方人におけるサービス高齢者住宅入居者に対する作業療法士の取り組み』
- ・学会名：第 50 回北海道作業療法学会学術大会

●筆頭演者：佐藤陵

- ・発表テーマ：『左橈骨遠位端骨折を呈した女性に対して、装具の再検討を行った症例』
- ・学会名：第 50 回北海道作業療法学会学術大会

●筆頭演者：宮本英嗣

- ・発表テーマ：『SCU 開設によるトイレでの排泄獲得日数への影響』
- ・学会名：第 50 回北海道作業療法学会

●筆頭演者：宮本英嗣

- ・発表テーマ：『急性期病棟における早期トイレ動作介入に向けたトイレチーム導入の試み』
- ・学会名：第 44 回日本脳卒中学会学術集会

●筆頭演者：迫 知輝

- ・発表テーマ：多職種共働での特殊便座作製により自力排便の再獲得と介助量軽減に至った一例
- ・学会名：第 45 回日本重症心身障害学会学術集会

●筆頭演者：加藤 瑞貴

- ・発表テーマ：当法人におけるサービス高齢者住宅入居者に対する作業療法士の取り組み
- ・学会名：第 50 回北海道作業療法学会学術大会

●筆頭演者名：江川 奈美

- ・発表テーマ：地方医療機関における小児整形外科手術実績と術前後のリハの関わり」
- ・学会名：第 50 回北海道理学療法士学術大会

●筆頭演者：佐伯 拓馬

- ・発表テーマ：ウェアラブルシステムを使用した慢性期片麻痺患者の歩行解析（第 2 報）～足部クリアランスと転倒の関連に関する検討～
- ・学会名：第 138 回北海道整形災害外科学会

●筆頭演者：伊藤 広和

- ・発表テーマ：脳卒中患者における体幹筋厚の対称性が歩行能力に与える影響 -超音波画像による検証-
- ・学会名：第 17 回日本神経理学療法学会学術大会

●筆頭演者：森田 和幸

- ・発表テーマ：MTDLP 普及に向けた科内研修（ポスター発表）
- ・学会名：第 50 回北海道作業療法学会

●筆頭著者名；高橋 良輔

- ・発表テーマ：モデルベースな表面筋電図解析は脳卒中後運動麻痺の異常同時収縮評価に有効か？
- ・学会名：第 17 回日本神経理学療法学会学術大会

●筆頭演者：齊藤 匠真

- ・発表テーマ：回復期病棟における心理師の役割
- ・学会名：北海道回復期リハビリテーション病棟協会第19回大会 in 札幌

●筆頭演者：川村 敦美

- ・発表テーマ：病棟への訪問評価により早期に訪問リハビリを導入し生活課題の解決に繋がった事例」
- ・学会名：第50回作業療法学会学術大会

●筆頭演者：太田 彩香

- ・発表テーマ：先天性上肢欠損児の就学に向けた関わり」
- ・学会名：第50回作業療法学会学術大会

●筆頭演者：鳥越 夕妃

- ・発表テーマ：病棟における ReoGo-J を用いた上肢機能訓練についての報告
- ・学会名：第53回日本作業療法学会

2018年

●筆頭演者：角張祐介

- ・発表テーマ：多職種による自立度判定指標作成の取り組み
- ・学会名：北海道老人保健施設大会

●筆頭演者：齊藤 貴志

- ・発表テーマ名：ウェアラブルシステムを使用した慢性期片麻痺患者の歩行解析
- ・学会名：第137回北海道整形災害外科学会

●筆頭演者：荒 洋輔

- ・発表テーマ：当院回復期病棟における上肢訓練用ロボット ReoGo-J の普及に向けた取り組み
- ・学会名：回復期リハビリテーション病棟協会 第33回研究大会 in 舞浜

●筆頭演者：小田代 唯人

- ・発表テーマ：ロボティクスリハビリテーションをADL・IADLに活用した効果の検証 -HONDA 歩行アシストを用いて-
- ・学会名：回復期リハビリテーション病棟協会 第33回研究大会 in 舞浜・千葉

●筆頭演者：永井 義樹

- ・発表テーマ：眼球運動に着目したアルツハイマー型認知症例への介入
- ・学会名：日本作業療法学会

●筆頭演者：高橋 良輔

- ・発表テーマ：脊髄損傷による上肢運動機能障害に対する反復運動課題中の筋電図を用いた評価：症例報告
- ・学会名：第48回日本臨床神経生理学会学術大会（東京）

●筆頭演者：小野 圭介

- ・発表テーマ：回復期脳卒中片麻痺患者に対する理学療法プランニングチェックシート実用化に向けた予備的研究—理学療法士の質向上に対する取り組み—
- ・学会名：第70回北海道理学療法学術大会

●筆頭演者：戎 駿介

- ・発表テーマ：足関節底屈筋力調整能力と加齢の影響
- ・学会名：第73回日本体力医学学会

●筆頭演者：浮田徳樹

- ・発表テーマ：回復期病棟入院中に銭湯での入浴に繋げる外出訓練を段階的に行った1症例
- ・学会名：第49回北海道作業療法学会

●筆頭演者：金 京室

- ・発表テーマ：左半側空間無視に対する両側右側アイパッチを適用した1症例
- ・学会名：第49回北海道作業療法学会. 2018.06.09-10

●筆頭演者：永井 義樹

- ・発表テーマ：眼球運動に着目したアルツハイマー型認知症例への介入
- ・学会名：第52回日本作業療法学会

●筆頭演者：浮田徳樹

- ・発表テーマ：当センターにおける車いす可動台数調査について
- ・学会名：第14回日本シーティングシンポジウム

●筆頭演者：金 京室

- ・発表テーマ：左半側空間無視に対する両側右側アイパッチを適用した一症例
- ・学会名：第49回北海道作業療法学会

●筆頭著者：高橋 良輔

- ・発表テーマ：脊髄損傷による上肢運動機能障害に対する反復運動課題中の筋電図を用いた評価 -症例報告-
- ・学会名：第48回日本臨床神経生理学会学術大会

●筆頭著者：高橋良輔

- ・発表テーマ：重度手指運動障害に対する視覚誘導性自己運動錯覚と神経筋電気刺激の併用により運動機能が改善した症例
- ・学会名：第55回日本リハビリテーション医学会学術集会

●筆頭著者：鳥越 夕妃

- ・発表テーマ：当法人における肢体不自由児・者に対する作業療法の取り組み・地域連携について
- ・学会名：第49回 北海道作業療法学会

2017年

●The Effect of Wheelchair Back Support Shape on Reach Accuracy. Atsuki Ukita, Hiroki Mani, Masayuki Abe, Hirotoishi KIshigami, Tatsuo Hatta. 33rd International Seating Symposium. 2017.03.02-04. Nashville (The Gaylord Opryland Hotel & Convention Center).

●Effect of exposure to short-wavelength light on susceptibility to motion sickness

Kyungshil Kim, Kazumi Hirayama, Kazuki Yoshida, Rika Yano, Masayuki Abe, Mika Otsuki, Satoshi Sakuraba, Shinya Sakai

2017 Symposium of the Society for the Study of Human Biology & International Association of

Physiological Anthropology (Loughborough, UK)

●筆頭演者：Sensyu Abe

- ・発表テーマ：“Leg cycling induces a decrease in spasticity in adults with cerebral palsy”
- ・学会名：American Congress of Rehabilitation Medicine 94th Annual Conference

●筆頭演者：金 京室

- ・発表テーマ：短波長光への暴露が Motion sickness の感受性に及ぼす影響
- ・学会名：第 16 回日本健康行動科学学会学術大会（札幌）

●筆頭演者：浮田 徳樹

- ・発表テーマ：座位アライメント設定が臀筋活動に及ぼす影響：健常者における予備的調査.
- ・学会名：日本健康行動科学学会第 16 回学術大会.

●筆頭演者：伊藤 綾香

・発表テーマ：Shinzel-Giedion 症候群により重症心身障がいをもつ症例に対する訪問リハビリテーションの経験

- ・学会名：第 52 回日本理学療法学術大会

●筆頭演者：船山 真由子

- ・発表テーマ：「脳性麻痺の動的脊柱装具使用時の矯正率と介護者満足度の関連について」
- ・学会名：第 52 回日本理学療法学術大会

●筆頭演者名：山崎 亜美

・発表テーマ：成人脳性麻痺者の座位バランス能力は粗大運動機能レベルおよび筋緊張タイプによる違いがあるのか ~ Trunk Control Measurement Scale を用いて ~

- ・学会名：第 69 回北海道理学療法士学術大会

●筆頭演者：鳥越 夕妃

・発表テーマ：脳性麻痺を持つ児を対象とした上肢機能に関する動的脊柱装具 (Dynamic Spinal Brace) の有効性について

- ・学会名：第 51 回 日本作業療法学会

2016 年

●筆頭演者：谷田一樹

- ・発表テーマ：『上肢麻痺に対する REOGO-J を用いたリハビリテーション』
- ・学会名：第 15 回北海道病院学会

●Back support shape with pelvic support belt affects asymmetrical seated posture and pressure points during reaching tasks in post-stroke patients. Atsuki Ukita, Kyungshil Kim, Masayuki Abe, Hirotohi Kishigami, Tatsuo Hatta. American Congress of Rehabilitation Medicine 93rd Annual Conference. 2016.11.02-04. Chicago (Hilton Chicago).

●筆頭演者名：荒 洋輔

・発表テーマ：当院回復期病棟における病棟レクレーション活性化に向けた取り組みの紹介-自主トレーニングの活性化を通じて

- ・学会名：回復期リハビリテーション病棟協会 第 29 回研究大会 in 広島

●筆頭演者：浮田 徳樹

- ・発表テーマ：なぜ座るだけで泣いていたのか？－車いすシーティング困難症例と圧力マッピング－
- ・学会名：回復期リハビリテーション病院協会第 27 回研究大会

●筆頭演者：永井 義樹

- ・発表テーマ：発達障害児への当院作業療法の取り組み
- ・学会名：日本作業療法学会

●筆頭演者：森田 和幸

- ・発表テーマ：OT が障害者支援施設生活介護事業に関わる事による変化
- ・学会名：日本作業療法学会

2015 年

●筆頭演者：小岩幹

- ・発表テーマ：急性期リハビリテーションのあり方に関する一考察
- ・学会名：第 7 回太平洋医療コンgres (アジア・ウラジマストク)

●Effects of the short wave-length light on susceptibility to motion sickness

Kyungshil Kim, Kazumi Hirayama, Rika Yano, Mika Otsuki, Satoshi Sakuraba, Kazuki Yoshida, Yui Murakami, Shinya Sakai

1st Asia-Ocean congress for Neurorehabilitation (Seoul, KOREA)

●筆頭演者：金 京室

- ・発表テーマ：motion sickness に及ぼす影響
- ・学会名：第 72 回日本生理人類学会 (札幌)

●筆頭演者：小野圭介

・発表テーマ：慢性期脳卒中患者に対してボツリヌス療法と理学療法の併用効果を検討した一症例 —
能動的機能, QOL の観点から—

- ・学会名：第 66 回北海道理学療法学会

●筆頭演者：宮本英嗣

- ・発表テーマ：低頻度 r-TMS と集中 OT の併用が慢性期脳卒中患者の上肢機能に与える影響
- ・学会名：第 57 回全日本病院学会

●筆頭演者：中嶋宏成

・発表テーマ：脳卒中片麻痺患者に対する低頻度反復性経頭蓋磁気刺激と理学療法の併用が歩行および
バランス機能に及ぼす影響について

- ・学会名：第 66 回北海道理学療法士学会

【論文】 18 件

2022 年

●筆頭著者：Ryosuke Takahashi

・論文名：Visually induced kinaesthetic illusion combined with therapeutic exercise for patients with chronic stroke: a pilot study

・掲載雑誌名：Journal of Rehabilitation Medicine 54

●筆頭著者：Shunsuke Ebisu

・論文名：Decrease in force control among older adults under unpredictable conditions

・掲載雑誌名：Experimental Gerontology Volume 158

2021 年

●筆頭著者：小岩幹

・論文名：診療参加型臨床実習

・掲載雑誌名：PT ジャーナル 55 巻第 7 号

●筆頭著者：小野圭介

・論文名：理学療法士の質と脳卒中患者の満足度との関連

・掲載雑誌名：北海道理学療法 38

2020 年

●筆頭著者：小岩幹

・論文名：国際交流の経験-海外での臨床経験

・掲載雑誌名：総合リハビリテーション 48 巻 6 号

●Influence of back support shape in wheelchairs offering pelvic support on asymmetrical sitting posture and pressure points during reaching tasks in stroke patients. Ukita A, Abe M, Kishigami H, Hatta T. PLOS ONE. 2020;15(4):e0231860.

●筆頭著者：浮田 徳樹

・論文名：MTDLP を用いて銭湯での入浴に向けた外出訓練を段階的に実施した 1 症例.

・掲載雑誌名：作業療法の実践と科学. 2020; 2(1): 16-22.

2018 年

●筆頭著者；高橋 良輔

・論文名：肩関節外旋反復トレーニングは外転運動中の棘下筋支配皮質脊髓路興奮性を増大させるか？

・掲載雑誌名：バイオメカニズム 24

●筆頭著者：高橋 良輔

・論文名：子どもの腰痛と危険性について

・掲載雑誌名：保健室 194

●筆頭著者：金 京室

・論文名：短波長光への暴露が Motion sickness の感受性に及ぼす影響.

・掲載雑誌名：北海道医学雑誌 93(1) 28-28. 2018

●筆頭著者：浮田 徳樹

- ・ 論文名：フットサポート長調整が車いす座面圧力分布に与える影響
- ・ 掲載雑誌名：北海道作業療法. 2018; 35(2): 110-116.

●筆頭著者：永井 義樹

- ・ 論文名：排便への姿勢支援が便秘改善に影響を及ぼした事例
- ・ 掲載雑誌名：北海道作業療法

2017 年

●Does the backrest shape of the wheelchair influence the asymmetric posture of patients with hemiparesis? A single institution pilot study. Ukita A, Abe M, Nikaido M, Arisawa K, Hatta T, Kishigami H. Biomed Res Clin Prac. 2017;2(4):1-7.

●Kyungshil Kim, Kazumi Hirayama, Kazuki Yoshida, Rika Yano, Masayuki Abe, Mika Otsuki, Satoshi Sakuraba, Shinya Sakai. Effect of exposure to short-wavelength light on susceptibility to motion sickness. NeuroReport 28:584-589, 2017

●筆頭著者：小野圭介

- ・ 論文名：参加者の ADL を揃えて集団運動系レク
- ・ 掲載雑誌名：回復期リハビリテーション協会機関誌第 16 巻第 2 号

2015 年

●Backrest Shape Affects Head-Neck Alignment and Seated Pressure. Ukita A, Nishimura S, Kishigami H, Hatta T. J Healthc Eng. 2015;6(2):179-192.

2016 年

●筆頭著者：宮本英嗣

- ・ 論文名：手指運動領域への低頻度 r-TMS が慢性期脳卒中患者の上肢機能に与える影響
- ・ 掲載雑誌名：北海道作業療法 第 33 巻 第 4 号

2014 年

●筆頭著者：阿部 正之

- ・ 論文名：脳卒中の作業療法支援技術から多職種連携・制度の利用まで 基本動作の支援①起居動作
- ・ 掲載雑誌名：OT ジャーナル 48 (7) : 613-616,2014